

平成24年1月4日

各位

住友精化株式会社

上田雄介社長年頭挨拶の要旨

わが国経済の先行きは、当面、震災復興関連の需要などにより内需は回復傾向を維持すると考えられる一方、世界経済の減速がさらに強まり、輸出の低迷や更なる円高の進行により景気が冷え込むおそれが多分にある。特に、円高が与える影響は大きく、当面の間、円高が継続するとの前提の下、今後の事業運営を考えていかなければならない。各部門、各個人で業務効率の一段の向上と更なるコストダウンへ向けた取り組みを実践することが必須である。

現在当社は更なるグローバル展開に向けたハード面の充実を着々と進めており、もう一方のソフト面も人財育成を中心とした仕組みの充実に向け、諸施策を着実に実行していく。

世界経済の先行きには不透明さがあり、当社を取り巻く経営環境はますます厳しいものになってきているが、全社一丸となって諸課題に取り組むことで、必ずや新・中期経営計画「SEIKA PLAN 2015」を実現できるものと確信している。

社員には、次のことを求めたい。

1. 「想定外の事」に備える

昨年は東日本大震災をはじめ、人類の知恵によって構築し、備えてきたはずのシステムやインフラが崩壊するという事実をまざまざと見た。世界の動向を注視する一方で、足元の日々の業務の中で「想定外の事」を今一度“想定”して欲しい。「想定外の事」を洗い出し、いかにこれらに備えるコンティンジェンシープランを持つかが事業の維持、拡大にとって不可欠となる。世界はすさまじい勢いで動いており、当社もその波から逃れることはできない。ともにこの波を乗り切り、中期経営計画達成のために邁進したい。

2. 仕事にコミットしよう

コミットする、またはコミットメントとは、「専心する」、「本腰を入れる」という意味であり、大げさに言えば、全身全霊をかける、必死になるということである。個人を支えるシステムやインフラが準備されていても、本人が「本気」にならなければ、その機能を十分に発揮させることはできない。仕事にコミットすることで得られる達成感を社員全員が何らかの形で経験して欲しい。この達成感は、自信につながり、次のチャレンジへの意欲に繋がると信じる。そしてこれらの積み重ねは、必ずや、仲間への貢献、ひいては会社の業績向上に繋がるはずである。

以上

本件お問い合わせ先：総務人事室（広報）

電話：06-6220-8508

FAX：06-6220-8541